

世界のイノベーション・エコシステムにおけるアジアの優位性の拡大 イノベーションの新時代へ クラリベイトがTop100 グローバル・イノベーター2022を発表 世界のイノベーションが東アジア諸国へシフト、日本企業は35社選出

2022年2月23日 ロンドン (英)- イノベーションを加速させる信頼性の高い情報や知見を提供する世界的リーディングカンパニーであるクラリベイト plc (NYSE:CLVT) は本日、第11回「Clarivate Top 100 Global Innovators™ 2022」を発表しました。クラリベイト™のデータに基づき、一定の基準を超える卓越した革新性を一貫して実現している、世界のイノベーション・エコシステムの頂点に立つ組織を年に1度選出しています。

世界の発明パターンが変化し、その測定方法が進化するにつれて、Top100 グローバル・イノベーターも変化しました。本年度の Top100 グローバル・イノベーター2022 に選出された組織の半数以上（54社）がアジアを拠点としており、世界のイノベーションにおけるアジアの優位性が高まっていることが明らかになりました。本年度の選出においては、過半数をアジアの組織が占めていますが、その中で日本企業は35社選出されました。台湾は9社、中国と韓国はそれぞれ5社です。

本年度のトップ100の中で最も多くの組織が選出された電子機器・コンピューティング分野でアジアの優位性は際立っており、同分野で Top100 入りを果たした28社のうち26社がアジアを拠点としています。また、技術開発が加速するモビリティ分野においては、電子機器・コンピューティング分野に次いで12社の自動車関連企業など多くのイノベーターが輩出されました。化学薬品・材料の分野も昨年の7社から10社へと選出企業が増加しています。

Top100 グローバル・イノベーター2022 の概要

Top100 グローバル・イノベーター2022 の主な結果は以下のとおりです。

- 今回の Top100 グローバル・イノベーターには12の国と地域が選出されており、最多選出国は、日本（35社）、次いで米国（18社）、台湾とドイツ（各9社）、フランス（8社）、中国と韓国（各5社）となっています。
- 2020年 および 2021年の Innovators to Watch レポートで予測されていた企業である General Motors や Hyundai を含む自動車関連企業の数が増加し、2021年の6社から本年度は12社と、2倍に増加しました。Ford、Volkswagen、Kia Motors のほか、11回目の受賞となる本田技研工業とトヨタ自動車も選出されています。
- 航空宇宙・防衛関連企業数も2倍に増加し、Rolls-Royce がこの分野に新たに加わり、更には Safran や Airbus などの欧州企業が返り咲きました。
- AU Optronics、Delta Electronics、Wistron などの Innovators to Watch 選出企業、そして再びリストに戻った Taiwan Semiconductor Manufacturing Company (TSMC) と MediaTek、更に初選出となった Realtek Semiconductors など台湾を拠点とする電子機器メーカーや半導体メーカーが注目を集めています。
- 中国では、2021年の Innovators to Watch 選出企業である e コマース大手の Alibaba と、アフィリエイトやデジタル決済の大手である Ant Group が初選出されました。
- 今回のリストには、台湾の Industrial Technology Research Institute (ITRI)、フランスの Alternative Energies and Atomic Energy Commission (CEA) と National Centre for Scientific Research (CNRS) の3つの国立研究機関も選出されています。

クラリベイトのチーフプロダクトオフィサー(CPO)、Gordon Samson は次のように述べています。「今日の世界の発明活動は、初めて Top100 グローバル・イノベーターを発表した 10 年前に比べると、はるかに高いレベルで、多様かつ複雑になっています。Top100 グローバル・イノベーター2022 を受賞した組織は、卓越したイノベーションを実証しています。世界に新たな価値と創意をもたらす能力や一貫性、創造性を備えていることで選出された企業・組織の皆様に、心よりお祝い申し上げます。」

今後のイノベーションの方向性

今後 4 年間で特許発明のほぼ 3 分の 1 が公開され、世界のイノベーションのペースが大幅に加速する可能性が高いことが、Top100 グローバル・イノベーター2022 の指標や評価から得られた現在のトレンドから明らかになりました。このような革新的な思考を持つ企業が最も多いのは、通信と産業システム分野、次いで自動車分野となります。

トップ 1000 の概要

分析範囲を上位 1000 までの組織に広げた結果、その国・地域・産業別の特徴が見られました。

- GE、LG、日立、Siemens などの大手コングロメイトではイノベーション力の強さとその規模の大きさが実証されました。
- トップ 1000 において、平均ランクが最も高いのは欧州のイノベーターでした。
- 研究分野に注力する学術研究・開発機関が大規模な開発を行う一方、発明の実用化・商業化については産業に頼っています。

Gordon Samson は次のように述べています。「今日のイノベーターは、急速に進化する現代のイノベーションの世界で成功するために、エコシステムとその影響をよりよく理解できる技術とデータを必要としています。クラリベイトでは、規模を問わずあらゆるイノベーターにガイダンスと明確性を提供しています。最先端の知識を取り入れ前進させながら、あらゆる人にとってより良い未来を築くための取り組みを続けているイノベーターに敬意を表します。」

Top100グローバル・イノベーター2022の詳細と受賞企業については[こちら](#)をご覧ください。

日本企業 35 社（英文社名のアルファベット順、右列は日本語の正式名称）は下記をご覧ください。

AGC	AGC 株式会社
Brother Industries	ブラザー工業株式会社
Canon	キヤノン株式会社
Denso	株式会社デンソー
Fanuc	ファナック株式会社
FujiFilm	富士フイルム株式会社
Fujitsu	富士通株式会社
Hitachi	株式会社 日立製作所
Honda	本田技研工業株式会社
Kioxia	キオクシア株式会社
Komatsu	株式会社 小松製作所

Konica Minolta	コニカミノルタ株式会社
Kyocera	京セラ株式会社
Mitsubishi Electric	三菱電機株式会社
Mitsubishi Heavy Industries	三菱重工業株式会社
Murata Manufacturing	株式会社村田製作所
NEC	日本電気株式会社
Nitto Denko	日東電工株式会社
Olympus	オリンパス株式会社
Omron	オムロン株式会社
Panasonic	パナソニック株式会社
Ricoh	株式会社リコー
Screen Holdings	株式会社 SCREEN ホールディングス
Seiko Epson	セイコーエプソン株式会社
Shimano	株式会社シマノ
Shin-Etsu Chemical	信越化学工業株式会社
Sony	ソニーグループ株式会社
Sumitomo Chemical	住友化学株式会社
Sumitomo Electric	住友電気工業株式会社
TDK	TDK 株式会社
Tokyo Electron	東京エレクトロン株式会社
Toshiba	株式会社東芝
Toyota	トヨタ自動車株式会社
Yamaha	ヤマハ株式会社
Yazaki	矢崎総業株式会社

Top100 グローバル・イノベーターの選出方法

クラリベイトは、世界のイノベーターを表彰する Top100 グローバル・イノベータープログラムを 2012 年から毎年実施しています。Top100 グローバル・イノベーターの卓越性の測定モデルには、比較に焦点を当てた数学的処理を使用しています。この手法は 2022 年に刷新され、イノベーション測定の新しいモデルによって、革新性における一貫した高いパフォーマンスと規模を重視して、すべてのアイデア（発明）を公平に評価しています。本レポートには、Derwent World Patents Index™（DWPI™）および Derwent World Citation Index™（DWCI™）のデータが使用されています。Top100 グローバル・イノベーター2022 の選定にあたって使用された手法の詳細については[こちら](#)をご覧ください。

クラリベイトについて

クラリベイト™は、イノベーションのライフサイクルを加速するソリューションを提供する世界的リーディングカンパニーです。当社の使命は、サイエンスや知的財産の分野において、新しいアイデアから人生を変えるような発明を生む時間を短縮するための実用的な情報と知見を提供することにより、お客様が抱える難題を解決できるよう支援することです。サイエンスや知的財産の分野において、基盤となる研究やアイデアから保護、そして商業化に至るまで、イノベーションのライフサイクル全体をカバーする深い専門知識を備えたサブスクリプションおよびテクノロジーベースのソリューションを提供しています。当社は、日本をはじめ、中国、韓国、東南アジア、オーストラリア、ニュージーランドなど、アジア太平洋地域を含む世界各国で事業を展開しています。詳細については、clarivate.com をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ>

日本： Top 100 グローバル・イノベーター2022 広報事務局（株式会社プラップジャパン内）
Mail: clarivate-top100-global-innovators-2022@prap.co.jp

米国： Clarivate 社外コミュニケーションマネージャー Rebecca Krahenbuhl
Mail: media.enquiries@clarivate.com